

# おお大勝利

平成 25 年度山東サッカー部報第 24 号 (1 月 24 日)

サッカー部保護者の皆様、OBの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

## 明けましておめでとうございます

平成 26 年、2014 年、明けましておめでとうございます。今年も山形東高校サッカー部へのご支援宜しくお願い致します。

昨年は、平成に入ってから 4 半世紀が経とうとしていることへのしみじみとした思いを語ることから、この部報を書き始めました。今年は・・・**山東 130 周年の記念の年**です！もちろん、旧制山形中学校（山形一高）を経てですが、年も取ったり 130 年！！歴史を感じます。ちなみに、120 周年記念で立てられたのが、現在の合宿所（学食のあるところ）。サッカー部は人数が多く、布団レンタルが厄介なため、ここ最近学校での合宿をしたことがありませんが、素晴らしい施設です。100 周年記念で建てられたのが、現在の山東講堂。OB の力を感じさせますね。今回は 110 周年記念と同じく、箱物なしの文化事業が企画されております。**前号掲載いたしました鈴木元監督・元部長先生のコメントにありましたように、総体・選手権の 2 冠の年は 100 周年記念の年だったそうで、今年も記念の年ですから、因縁に期待したいところ**です。

さて、昨年、総体県予選では残念ながら一回戦負け。涙にくれました。しかし、3 年生チームは県リーグでしっかり締めくくりをしてくれたし、新チームは、出だし 2 連敗後の 5 連勝で、嬉しい驚きを与えてくれました。選手権、県新人でも、実力以上の結果は出せたような気がします（地区新人も含めて）。県新人に出場できなかった山形南や山形城北よりも実力が上、とは言えない状況でありながら、巡り合わせが良かったというか、選手が頑張ったというか。1 年生大会は、あのような（9 人で出場という）逆境に立たされた時の山東の底力を垣間見ることができました。**《粘り強さ》**というのは、**進学校でしぶとく結果を残す際のキーワード**だと思っているのですが、本当にその特色を発揮してくれました。正直、モンテューズに勝って日曜日も試合があったら、大変なことになってました（土曜日負けることを前提に、私的な用事を入れてましたので・・・）。今年はどうなるでしょうか？

また、この部報作成者である顧問も現在山東 8 年目、いつ異動になってもおかしくない「年頃」になってまいりました。前任校は進学校とは対極にあるような学校であり、サッカー部も半分が初心者でしたが、それぞれにやり甲斐があり、異動は絶対にしたくない中、異動が命じられ、渋々山東へ赴任いた、という思い出があります。そんな重い気持ちで赴任した山東も、「住めば都」。まだまだ居座る野心はあるのですが・・・9 年目に突入できますでしょうか？**できなかつたら、この部報は 3 月で終了**ということになりますよ～。まあ、**勝手な予測で言いますと「75%残留」**でございます。

さあ、新年、山東サッカー部の活躍にご期待下さい。現在、チームは少ない人数の中、楽しく厳しく練習に励んでおります。**人数が少ない中、自分たち自身で高めあえる雰囲気・文化をどれだけ形成できるか**。応援よろしく申し上げます！！

# 充実の正月埼玉遠征 OBの力も借りて

1月3日～5日、昨年と同じく埼玉県立越谷西高校さんと合同合宿をさせてもらいながら、充実の遠征を行ってまいりました。1月3日早朝6時に出発し、まず向かった先は駒場浦和スタジアム。選手権の3回戦が行われている。第一試合のカードは、富山第一 VS 市立浦和。富山第一がパパパーンと三得点し、圧勝かと思わせましたが、前半ロスタイムに市立浦和が一点返し、後半は市立浦和が攻めまくる。結局、後に優勝することになる富山第一が3対2で勝利。結果的にみれば、優勝チームを観れて良かった～、という感想。でもまさか、あの後半崩れたチームが優勝するとはね～。わからないものです。まあ、この辺りは、県の高体連サッカー専門部の選手権視察として一応派遣された私がサッカー年鑑にレポートを書きましたので、『サッカー年鑑』をご覧ください<sup>1</sup>。第二試合は、日章学園と東福岡。東福岡は一回戦で山形県代表米沢中央を6対0で撃破しているチームであり、プレミアリーグWEST(全国リーグ・西)でも好成績を残し、選手権優勝候補の一角。東福岡優勢でしたがね～、日章学園のCDF、GKが固かった！ 東福岡、正直もっともっと見たかったチームですが、残念ながらPK合戦で敗北。開幕戦の國學院久我山(東京B)もそうですが、もっと見たかったチームが敗れるのは歯がゆい。ただ、劣勢を強いられるチームが粘り勝利を手繰り寄せるのは、観ていて勉強になるし、勇気づけられもする。市立浦和なんか、3点ビハインドからあれだけ迫った《諦めない心》、素晴らしかったな～。

などと刺激を受けた後は、越谷西高校に移動。到着が遅れたのと合宿所の夕食の時間の関係があり、その日はゲームせず。翌朝6:00キックオフでゲーム開始。選手は普段ゲームができない環境にある故、のびのびしてプレーしているように見えました。その日は、三郷北高校へ移動してゲーム。三郷北のテクニカルなサッカーに、押される展開。山東も惜しいシュートを放ったり実際ネットを揺らすこともあり、別なめぐり合わせであればもっと点が入ったかもしれませんが、逆に相手のシュートがもっと入るであろうと見る方が自然な試合でした。すなわち、守備崩壊。そして**守備崩壊の中、頑張る気持ちが失せていく・・・。前日選手権を観戦し、《諦めない心》の大切さを目の当たりにしたはずなんですけどね～**。とても残念、かつ、相手に失礼な試合をしてしまいました。この遠征で、《急ぐべきところとそうでないところを区別してサッカーする》、そして、その大前提として、《簡単にボールを奪われない／奪われそうになったら一人か二人かボールを前に運ばず、まずボールの確保を優先する》、という共通理解のもとサッカーができるかを課題にしましたが、**諦めずにプレーをする、声をかけ続けるという基本的な所で甘さがあり、現時点での自分たちの立ち位置を確認させられました**。最終日は昨年に引き続き、庄和高校とのゲーム。実は私の妻がここ旧庄和町出身であり、いつも年末年始帰省する実家が庄和高校の近くなどという縁もある<sup>2</sup>。相手の高いDFラインを巧く攻略できず、オフサイドにばかりかかり、拙攻という言葉がピッタリな試合。ただ、良い環境の中、ゲームさせてもらい、経験を積ませてもらいました。

**何といたっても合同合宿して下さった越谷西高校さん、そして、試合でお世話になりました三郷北高校さん、庄和高校さん、本当にお世話になりました。ありがとうございました。**

また、選手人数が少ないため、**OBのゴーくん、ダイソーくん**に帯同してもらい、一緒に

<sup>1</sup> その前に、山東サッカーOB会HPにレポートを載せてもらうようお願いしますので、サッカー年鑑が待てない方や入手できない方はそちらでどうぞ。

<sup>2</sup> 実際、義理の父は、1月5日試合を観に来てくれました。

プレーしてもらいました。お二人ありがとうございます。4日には埼玉大学に通っている**ヤスオくん**（マネのスミコ兄）が応援に来てくれました。ヤスオくんからは、**ゴーくん・ダイゾーくん**が三日間身を持って示してくれた《こだわること、関わることの大切さ》について指導してもらいました。本当にありがとう。

なお、遠征に際しまして、**佐竹校長より越谷西さんへのお酒のお土産を頂戴いたしました。**おかげ様でサッカー部からは今年越谷西スタッフへお土産を購入せずに遠征に行くことができました。校長先生ありがとうございました。

最後に、**保護者会の皆様から激励金を頂戴しました。また、大野さん、森谷さんから差し入れ頂戴しました。**ありがとうございました。